

5 樹木調査

樹木調査では、地上高 1.5m の直径が 90cm 以上の樹木を大径木とし、現地にて大径木の調査を行った。

5-1 大径木の現況

1) 大径木の状況分析（区全域）

- ・区全域の大径木の状況を図 5-1、大径木分布図を図 5-8 に示す。
- ・区全域の調査対象樹木は 388 本であった。
- ・幹周ランク別では 280～320cm が 168 本と最も多く、320～350cm が 79 本、280cm 未満が 64 本、350～400cm が 51 本、400cm 以上が 26 本であった。
- ・調査した大径木のうち、区の保存樹木（幹周 120cm 以上）の指定を受けているものは、110 本確認できた。

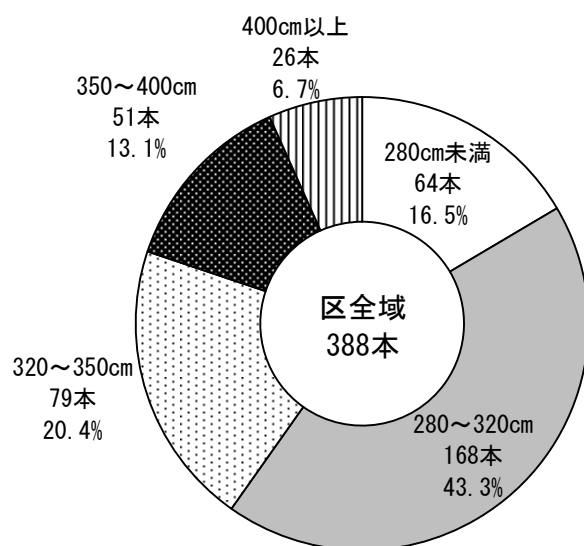


図 5-1 区全域における大径木の状況

2) 調査方法

- ・令和元年度調査において直径 80cm 以上の樹木の直径を計測し、直径 90cm 以上であれば大径木として調査した。
- ・直径 90cm 以上と判断した大径木の幹周を計測しており、幹周 280cm 未満の大径木も調査対象とした。

2) - 1 調査項目

・樹木調査の調査項目は次に示すとおりである。

- ①位置
- ②樹種
- ③形状（樹形、地上高 1.5m の幹周）
- ④保存樹木指定状況
- ⑤土地利用区分（表 5-1）
- ⑥活力度評価（表 5-2）
- ⑦地盤状況
- ⑧地盤環境
- ⑨育成環境
- ⑩景観性
- ⑪施設名称
- ⑫写真撮影

表 5-1 土地利用区分

土地利用区分	内 容
公園	区立・都立公園
公共公益施設	区立・都立・国立その他公共公益施設
学校	区立小中学校・都立学校・私立学校
道路	国道・都道・区道・私道
寺社墓地	寺院・墓地・神社
個人住宅	戸建て住宅
集合住宅	アパート・マンション等の集合住宅
民間施設（商業系）	事務所・店舗
民間施設（工業系）	倉庫・工場
民間施設（その他）	駐車場等
その他	上記以外

表 5-2 活力度評価

測定項目	評価基準		
	①良好	②普通	③不良
樹勢	旺盛な生育状態を示しており、幾分被害の影響を受けているがあまり目立たない	良好・不良以外のもの	生育状態が劣悪で回復の見込みがない
樹形	自然樹形に近い	良好・不良以外のもの	自然樹形が完全に崩壊され奇形化している
梢端枯損	少しあるがあまり目立たない	良好・不良以外のもの	著しく多い
枝葉の密度	正常、枝及び葉の密度のバランスがよい	良好・不良以外のもの	枯死が多く、葉の発生が少ない。密度が著しく疎

3) 大径木の状況分析 (5地域別・32地区別)

3) - 2 5地域別樹木本数

- ・地域別樹木本数と10ha当たり本数を表5-3、地域別の幹周ランク構成を図5-2、地域別の10ha当たりの樹木本数を図5-3に示す。
- ・5地域別の樹木本数は、常盤台地域、志村地域、赤塚地域、高島平地域、板橋地域の順であった。
- ・10ha当たり本数は、常盤台地域、志村地域、赤塚地域、板橋地域、高島平地域の順であった。

表 5-3 地域別樹木本数と10ha 当たり本数

地域名	樹木本数		10ha当たり本数	
	順位	(本)	順位	(本)
常盤台	1	147	1	3.2
志村	2	86	2	1.3
赤塚	3	71	3	1.1
高島平	4	45	5	0.5
板橋	5	39	4	0.7
区全域	—	388	—	1.2

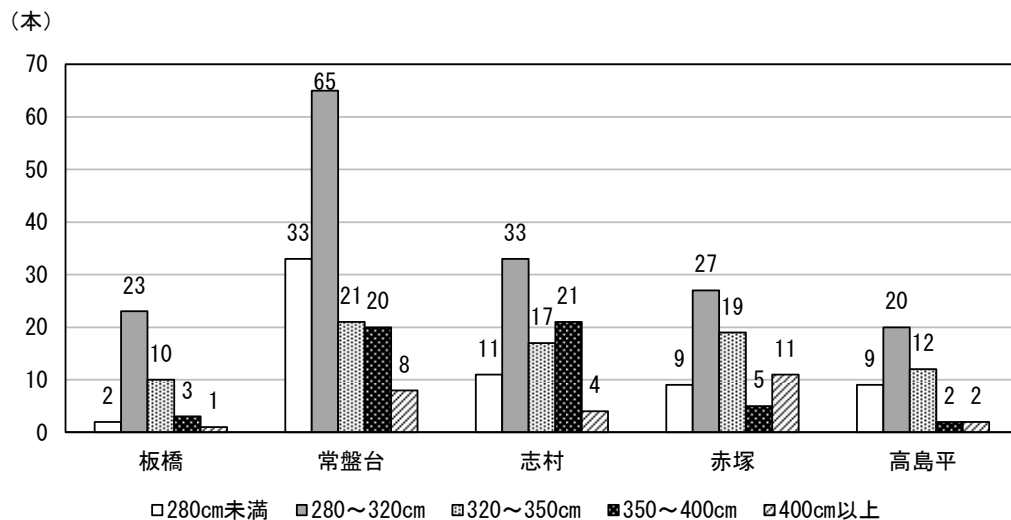


図 5-2 地域別の樹木の幹周ランク構成

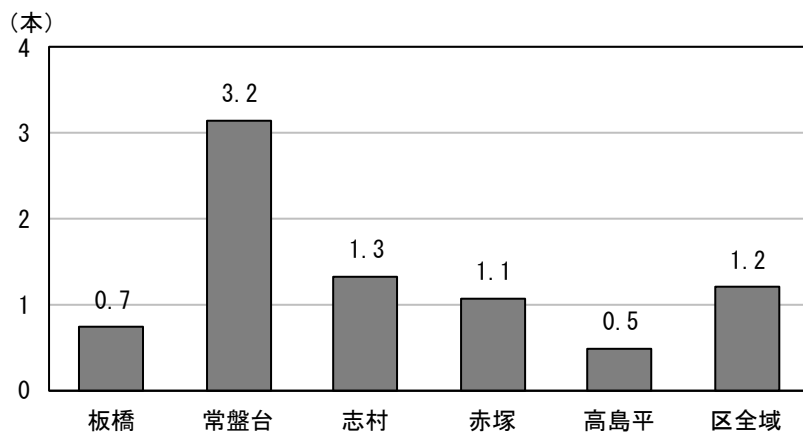


図 5-3 地域別の10ha 当たりの樹木本数

3) - 2 32地区別樹木本数

- ・地区別の幹周ランク別の状況を表 5-4 に示す。
- ・地区別では上板橋地区が 42 本で最も多くの大径木を確認できた。
- ・次いで常盤台地区 38 本、赤塚地区 32 本、小茂根地区 31 本の大径木が確認できた。
- ・仲宿地区、東坂下地区、赤塚新町地区、三園地区には調査対象となる樹木は確認できなかった。
- ・幹周 400cm 以上の大径木は、四葉地区が 4 本で最も多い。

表 5-4 地区別の樹木幹周ランク別の状況

地区名	面積 (ha)	280cm未満 (本)	280～320cm (本)	320～350cm (本)	350～400cm (本)	400cm以上 (本)	総計		10ha当たり本数	
							(本)	順位	(本)	順位
板橋	101.0	0	8	1	1	0	10	15	1.0	18
加賀	49.0	1	7	4	0	0	12	12	2.4	5
仲宿	57.0	0	0	0	0	0	0	29	0.0	29
幸町	76.0	0	2	1	1	1	5	23	0.7	22
大山	79.0	0	5	4	1	0	10	15	1.3	12
中板橋	100.0	1	0	0	0	0	1	26	0.1	28
富士見町	64.0	0	1	0	0	0	1	26	0.2	25
常盤台	105.0	10	18	3	6	1	38	2	3.6	2
向原	44.0	2	4	3	1	0	10	15	2.3	7
大谷口	83.0	1	6	1	0	1	9	18	1.1	15
小茂根	91.0	7	11	6	4	3	31	4	3.4	3
東新町	67.0	1	11	1	3	1	17	7	2.5	4
上板橋	76.0	12	15	7	6	2	42	1	5.5	1
蓮沼町	115.0	4	4	2	6	1	17	7	1.5	11
小豆沢	88.0	1	3	3	2	0	9	18	1.0	17
志村	73.0	2	4	3	2	1	12	12	1.6	9
前野町	142.0	0	6	3	3	1	13	10	0.9	20
中台	72.0	1	4	2	2	0	9	18	1.3	13
若木	53.0	0	3	0	2	1	6	22	1.1	14
東坂下	46.0	0	0	0	0	0	0	29	0.0	29
西台	85.0	3	9	4	4	0	20	6	2.4	6
徳丸	188.0	2	3	4	1	3	13	10	0.7	21
四葉	49.0	3	2	2	0	4	11	14	2.2	8
赤塚	196.0	3	15	9	2	3	32	3	1.6	10
赤塚新町	49.0	0	0	0	0	0	0	29	0.0	29
成増	142.0	1	7	4	2	1	15	9	1.1	16
三園	57.0	0	0	0	0	0	0	29	0.0	29
坂下	96.0	0	0	0	1	0	1	26	0.1	27
蓮根	94.0	2	2	1	0	0	5	23	0.5	23
舟渡	208.0	0	2	6	0	0	8	21	0.4	24
高島平	313.0	7	16	4	0	2	29	5	0.9	19
新河岸	162.0	0	0	1	1	0	2	25	0.1	26
区全域	3,220.0	64	168	79	51	26	388	—	1.2	—

4) 大径木の状況分析（土地利用別）

4) - 1 公民別土地利用別本数

- ・公民別土地利用別樹木状況を表 5-5、公有地別の樹木本数構成比を図 5-4、民有地別の樹木本数構成比を図 5-5 に示す。
- ・大径木が最も多い土地利用は公園（155 本）、次いで社寺境内地（93 本）、区立学校（30 本）であった。
- ・公有地の大径木本数は、全体の約 6 割（232 本）、民有地は全体の約 4 割（156 本）であった。
- ・公園の大径木は、公有地の大径木の約 7 割を占める。
- ・社寺境内地の大径木は民有地の大径木の約 6 割、独立住宅は約 2 割を占める。
- ・幹周 400cm 以上の大径木は、公園（10 本）、社寺境内地（8 本）、その他公共施設（4 本）の順に多く、公有地が民有地よりも若干多い結果となった。

表 5-5 土地利用別樹木状況

単位:本

土地利用		280cm 未満	280～ 320cm	320～ 350cm	350～ 400cm	400cm 以上	合計
公有地	主な区有施設	3	6	3	0	0	12
	その他公共施設	0	9	7	2	4	22
	教育 施設	区立学校	5	11	8	4	30
		都立学校	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	公園	34	64	29	18	10	155
	公営住宅	1	3	2	2	0	8
	道路	1	4	0	0	0	5
	鉄道	0	0	0	0	0	0
	計	44	97	49	26	16	232
民有地	社寺境内地	13	40	16	16	8	93
	私立学校	1	7	0	0	0	8
	商業用地	0	4	8	1	0	13
	独立住宅	2	12	4	6	2	26
	集合住宅	2	3	2	2	0	9
	工業用地	0	1	0	0	0	1
	空地	0	1	0	0	0	1
	農用地	0	0	0	0	0	0
	林野	2	3	0	0	0	5
	計	20	71	30	25	10	156
合 計		64	168	79	51	26	388

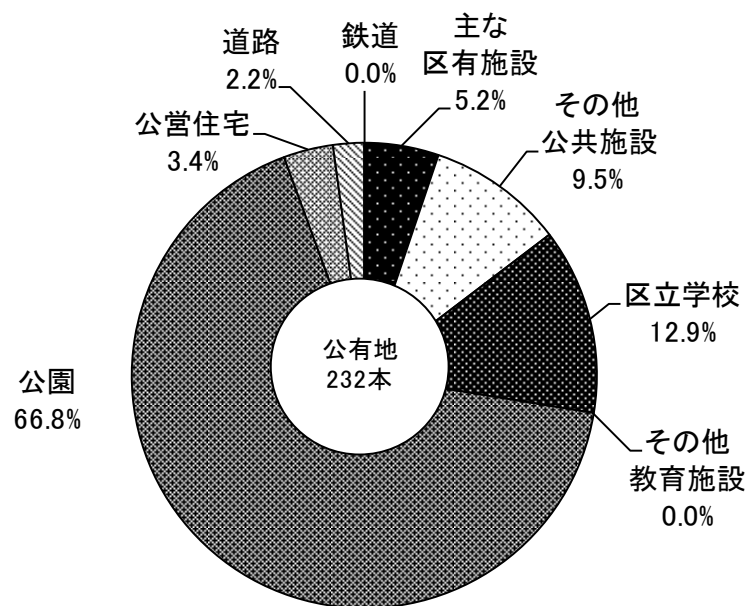
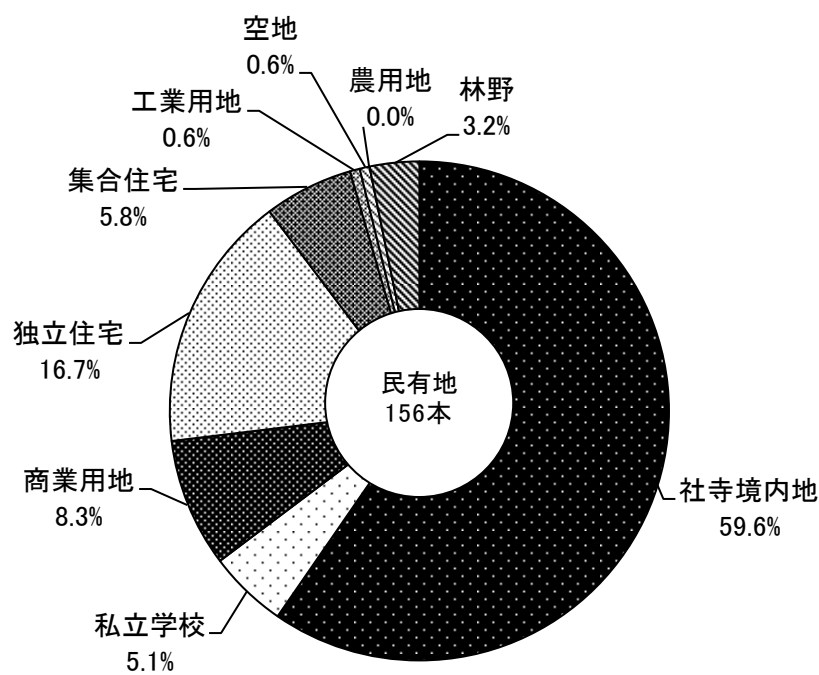


図5-4 公有地別の樹木本数構成比



※小数第2位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

図5-5 私有地別の樹木本数構成比

4) - 2 現地調査結果による土地利用別本数

- ・ 現地で確認した土地利用区分（P5-2 表 5-1 参照）による集計を表 5-6 に示す。
- ・ 大径木が最も多い土地利用は公園（155 本）、次いで寺社墓地（93 本）、学校（38 本）であった。

表5-6 現地調査結果による土地利用別樹木状況

単位:本

現地土地利用	280cm 未満	280～ 320cm	320～ 350cm	350～ 400cm	400cm 以上	合計
公園	34	64	29	18	10	155
公共公益施設	3	15	10	2	4	34
学校	6	18	8	4	2	38
道路	1	4	0	0	0	5
寺社墓地	13	40	16	16	8	93
個人住宅	2	12	4	6	2	26
集合住宅	3	6	4	4	0	17
民間施設(商業系)	0	3	8	1	0	12
民間施設(工業系)	0	1	0	0	0	1
民間施設(その他)	0	1	0	0	0	1
その他	2	4	0	0	0	6
合計	64	168	79	51	26	388

5) 大径木の状況分析（樹種別）

- ・ 樹種別の本数と構成比を図 5-6、樹種別の幹周ランク別の状況を表 5-7 に示す。
- ・ 最も多い樹種はサクラの 118 本、全体の 30.4%であった。
- ・ 次いでケヤキ（91 本）、イチョウ（39 本）、クスノキ（38 本）と続き、上位 4 種が樹木全体の 7 割以上を占めている。

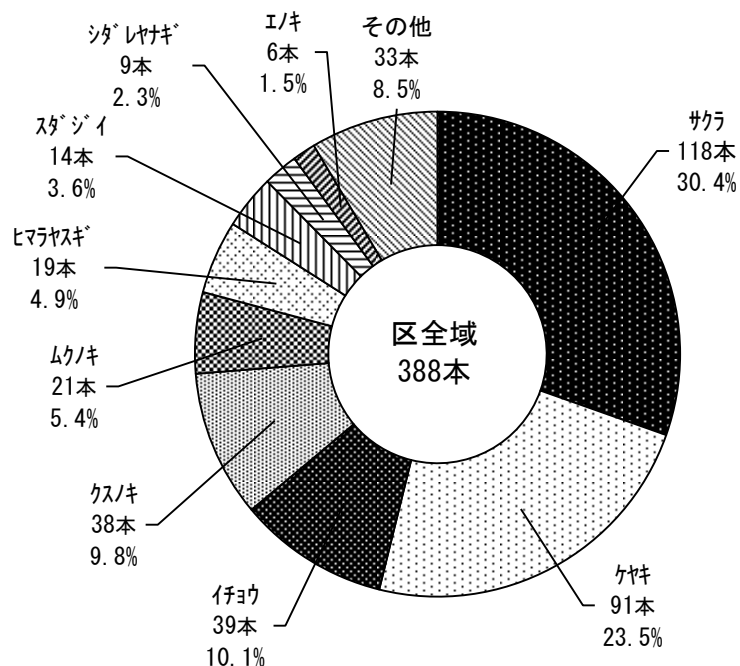


図5-6 樹種別の本数と構成比

表5-7 樹種別幹周ランク別の状況

単位：本

樹種	280cm未満	280～320cm	320～350cm	350～400cm	400cm以上	合計
サクラ	26	57	19	10	6	118
ケヤキ	9	36	25	14	7	91
イチョウ	5	15	8	7	4	39
クスノキ	8	14	8	6	2	38
ムクノキ	9	6	2	3	1	21
ヒマラヤスギ	3	12	2	2	0	19
スタシイ	1	5	2	4	2	14
シダレヤナギ	0	2	6	1	0	9
エノキ	0	2	1	2	1	6
その他	3	19	6	2	3	33
合計	64	168	79	51	26	388

- ・地区別の樹種別分布状況を表 5-8 に示す。
- ・サクラは小茂根地区（18 本）、常盤台地区（17 本）、上板橋地区（15 本）の順に多い。
- ・ケヤキは赤塚地区（17 本）、上板橋地区（11 本）、高島平地区（7 本）の順に多い。

表5-8 地区別の樹種別分布状況

単位：本

地区名	サクラ	ケヤキ	イチョウ	クスノキ	ムクノキ	ヒマヤスギ	スダジイ	シダレヤナギ	エノキ	その他	合計
板橋	1	3	3	0	0	0	2	0	0	1	10
加賀	6	1	2	0	0	0	1	0	0	2	12
仲宿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幸町	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	5
大山	3	1	0	2	0	0	0	0	0	4	10
中板橋	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
富士見町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
常盤台	17	5	5	4	1	5	1	0	0	0	38
向原	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10
大谷口	4	1	0	1	2	0	1	0	0	0	9
小茂根	18	3	2	1	2	1	2	0	0	2	31
東新町	2	4	1	2	1	1	0	0	1	5	17
上板橋	15	11	1	5	0	5	0	0	3	2	42
蓮沼町	3	6	5	1	1	0	0	0	0	1	17
小豆沢	2	2	0	1	0	1	2	0	0	1	9
志村	3	3	1	0	2	1	1	0	0	1	12
前野町	4	4	0	2	0	2	0	0	0	1	13
中台	3	1	0	0	1	2	1	0	0	1	9
若木	3	1	0	0	1	0	1	0	0	0	6
東坂下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西台	5	3	6	1	4	0	0	0	0	1	20
徳丸	4	4	1	1	1	0	0	0	0	2	13
四葉	0	2	2	0	3	0	0	0	1	3	11
赤塚	4	17	6	0	1	1	0	0	0	3	32
赤塚新町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
成増	7	6	1	0	1	0	0	0	0	0	15
三園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
坂下	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
蓮根	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	5
舟渡	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8
高島平	3	7	0	15	0	0	0	0	1	3	29
新河岸	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
区全域	118	91	39	38	21	19	14	9	6	33	388

- ・現地調査結果による土地利用区分（P5-2 表 5-1 参照）による樹種別分布状況を表 5-9 に示す。
- ・サクラは公園（50 本）、学校（24 本）に分布が多く、サクラ全体の約 60% を 2 つの現地土地利用で占めていた。
- ・ケヤキは公園（34 本）、寺社墓地（27 本）、個人住宅および公共公益施設（各 9 本）に分布が多く、合算するとケヤキ全体の約 90% を占めていた。
- ・イチョウは寺社墓地（23 本）、公園（8 本）に分布が多く、他の土地利用では分布が少ない。
- ・クスノキは公園（25 本）、寺社墓地（8 本）に分布が多く、他の土地利用では分布が少ない。

表 5-9 現地調査結果による土地利用別の樹種別分布状況

単位: 本

現地土地利用	サクラ	ケヤキ	イチョウ	クスノキ	ムクノキ	ヒマラヤスギ	スタジイ	シダレヤナギ	エノキ	その他	合計
公園	50	34	8	25	7	10	3	1	5	12	155
公共公益施設	19	9	2	1	0	1	1	0	0	1	34
学校	24	3	1	1	1	3	2	0	0	3	38
道路	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	5
寺社墓地	5	27	23	8	8	4	5	0	1	12	93
個人住宅	10	9	3	0	1	0	0	0	0	3	26
集合住宅	8	2	1	2	2	0	2	0	0	0	17
民間施設(商業系)	0	1	0	1	0	0	1	8	0	1	12
民間施設(工業系)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
民間施設(その他)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	1	3	0	0	1	0	0	0	0	1	6
合計	118	91	39	38	21	19	14	9	6	33	388

6) 大径木の状況分析（地形区分別）

- ・地形区分別の幹周ランク別の状況を表 5-10、地形区分別幹周ランク別の構成比を図 5-7、地形区分別樹種別の状況を表 5-11 に示す。
- ・地形区分は、令和 3 年度調査において都市計画基本図データ（MMT）より標高 15～24mを斜面とし、標高が 15m未満の区域を低地、標高が 24mよりも高い区域を台地とした。
- ・台地上の大径木の本数が 265 本と最も多く、10ha 当たり本数も 1.8 本と最も多い。
- ・斜面上の大径木の 400cm 以上の割合は、他の地形区分と比較して 9.2%と最も高い。
- ・低地上の大径木はクスノキ（19 本）、ケヤキ（11 本）が多く、これらが全体の約半分を占めていた。
- ・斜面上の大径木はサクラ（16 本）、ケヤキ（13 本）、イチョウ（8 本）、クスノキ（7 本）が多く、この 4 つの樹種で約 7 割を占めていた。
- ・台地上の大径木はサクラ（97 本）が全体の約 4 割を占めており、次いでケヤキ（67 本）であった。

表5-10 地形区分別幹周ランク別の状況

単位: 本

地形区分	面積 (ha)	280cm未満	280～320cm	320～350cm	350～400cm	400cm以上	合計	10ha当たり本数
低地	1,206.9	13	23	16	4	2	58	0.5
斜面	575.0	8	33	10	8	6	65	1.1
台地	1,438.1	43	112	53	39	18	265	1.8
合計	3,220.0	64	168	79	51	26	388	1.2

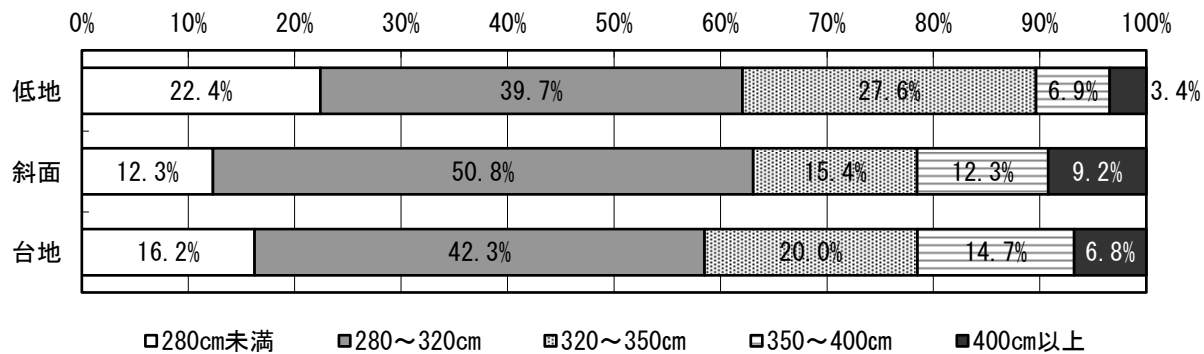


図5-7 地形区分別幹周ランク別の構成比

表5-11 地形区分別樹種別の状況

単位: 本

地形区分	面積 (ha)	サクラ	ケヤキ	イチョウ	クスノキ	ムクノキ	ヒマラヤスギ	スタジイ	シダレヤナギ	エノキ	その他	合計	10ha当たり本数
低地	1,206.9	5	11	3	19	4	1	2	9	1	3	58	0.5
斜面	575.0	16	13	8	7	5	8	4	0	0	4	65	1.1
台地	1,438.1	97	67	28	12	12	10	8	0	5	26	265	1.8
合計	3,220.0	118	91	39	38	21	19	14	9	6	33	388	1.2

7) 巨木の状況（幹周400cm以上の大径木）

7) - 1 巨木の状況

- ・ 幹周 400cm 以上の巨木本数について、地域別を表 5-12、土地利用別を表 5-13、樹種別を表 5-14 に示す。
- ・ 本調査では幹周 400cm 以上の巨木は 26 本が確認された。
- ・ 地域別の巨木本数は赤塚地域（11 本）が最も多く、次いで常盤台地域（8 本）、志村地域（4 本）、高島平地域（2 本）、板橋地域（1 本）の順であった。
- ・ 土地利用別の巨木本数は、公園が（10 本）が最も多く、次いで寺社墓地（8 本）、公共公益施設（4 本）の順であった。
- ・ 巨木の樹種では、ケヤキが 7 本で最も多く、次いでサクラが 6 本、イチョウが 4 本であった。

表5-12 地域別の幹周ランク別の本数（幹周400cm以上）

単位：本

地域名	450cm未満	450～500cm	500～550cm	550～600cm	600cm以上	合計
板橋	1	0	0	0	0	1
常盤台	6	1	0	0	1	8
志村	3	1	0	0	0	4
赤塚	6	2	2	1	0	11
高島平	0	1	1	0	0	2
区全域	16	5	3	1	1	26

表5-13 土地利用別の幹周ランク別本数（幹周400cm以上）

単位：本

土地利用	450cm未満	450～500cm	500～550cm	550～600cm	600cm以上	合計
公園	6	3	1	0	0	10
公共公益施設	3	0	0	0	1	4
学校	2	0	0	0	0	2
寺社墓地	5	1	2	0	0	8
個人住宅	0	1	0	1	0	2
区全域	16	5	3	1	1	26

表5-14 樹種別の幹周ランク別本数（幹周400cm以上）

単位：本

地域名	450cm未満	450～500cm	500～550cm	550～600cm	600cm以上	合計
サクラ	4	2	0	0	0	6
ケヤキ	3	1	1	1	1	7
イチョウ	3	0	1	0	0	4
クスノキ	1	1	0	0	0	2
ムクノキ	0	1	0	0	0	1
スダジイ	2	0	0	0	0	2
エノキ	1	0	0	0	0	1
その他	2	0	1	0	0	3
区全域	16	5	3	1	1	26

7) - 2 巨木の活力度評価

- ・活力度評価は樹勢、樹形、梢端枯損失、枝葉の密度について「良好」、「普通」、「不良」の3段階で評価を行った。その結果を表 5-15 に示す。

表5-15 巨木の活力度評価

単位：本

評価	樹勢	樹形	梢端枯損失	枝葉の密度
良好	1	2	0	0
普通	24	22	25	22
不良	1	2	1	4
合計	26	26	26	26

7) - 3 区内の巨木ベスト10

- ・巨木の上位 10 本を表 5-16 に示す。
- ・本調査で最も大きい樹木は、日本大学医学部附属板橋病院のケヤキ(幹周 647 cm)で、次いで個人住宅のケヤキ(幹周 568 cm)、諏訪神社のイチョウ(幹周 538 cm)であった。
- ・第 5 位の徳丸ヶ原公園のアカメヤナギ(幹周 503 cm)は広がった大きな枝が美しい。第 7 位の区立高島平緑地のクスノキ(幹周 490 cm)は、高島通り沿いで、周囲には高木も少なく、クスノキ特有の直線的な幹が確認できる。第 8 位の紅梅公園のサクラ(幹周 483 cm)は、他の樹木の被圧もなく葉張りがあり、壮観である。

表 5-16 巨木(上位 10 位)一覧

順位	樹種	幹周 (cm)	町丁目	所在地
1	ケヤキ	647	大谷口上町	日本大学医学部附属板橋病院
2	ケヤキ	568	成増五丁目	個人住宅
3	イチョウ	538	大門	諏訪神社
4	ケヤキ	521	赤塚四丁目	氷川神社
5	アカメヤナギ	503	高島平八丁目	徳丸ヶ原公園
6	ムクノキ	496	若木一丁目	稲荷神社
7	クスノキ	490	高島平三丁目	区立高島平緑地
8	サクラ	483	徳丸八丁目	紅梅公園
9	サクラ	478	徳丸六丁目	徳丸高山公園
10	ケヤキ	451	桜川二丁目	個人住宅

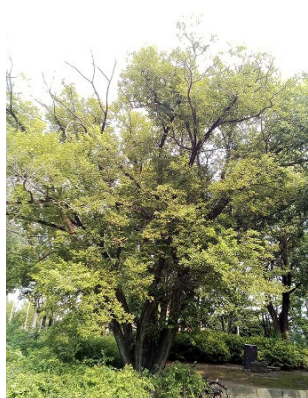


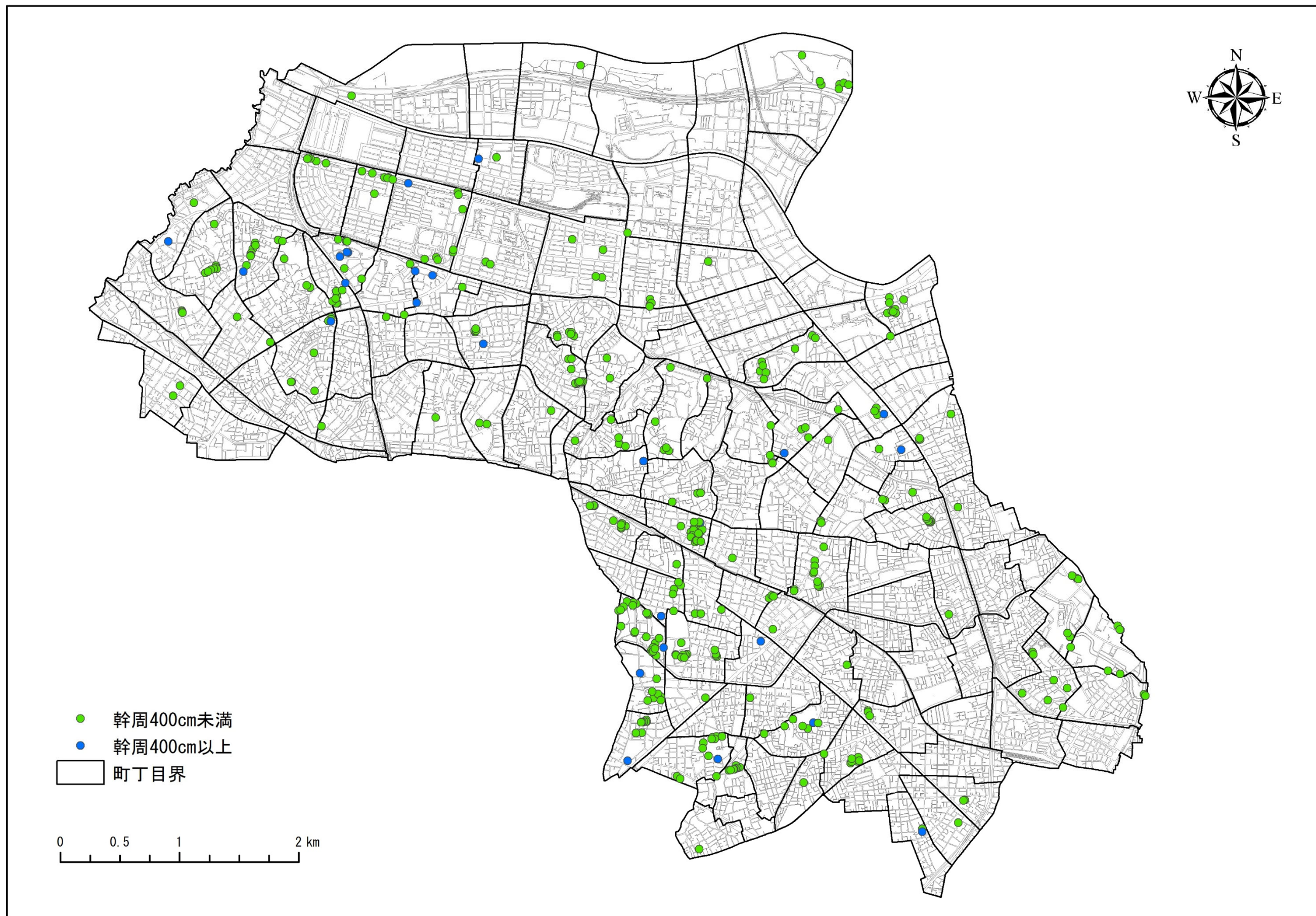
写真 5-1 徳丸ヶ原公園の
アカメヤナギ
(順位：5 位)



写真 5-2 区立高島平緑地
のクスノキ
(順位：7 位)



写真 5-3 紅梅公園
のサクラ
(順位：8 位)



この地図は東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。(承認番号) (MMT 利許第 06-119 号)

図 5-8 大径木分布図

5－2 過去の調査結果との比較

1) 大径木本数の推移

- ・直径 90cm 以上の大径木本数の推移を図 5-9 に示す。
- ・直径 90cm 以上の大径木本数は、令和元年（377 本）から令和 6 年（388 本）で 11 本の増加であった。
- ・本調査で、新たに確認された直径 90cm 以上の大径木は 18 本であった。
- ・令和元年度調査で直径 80cm 以上の大径木の有無を確認したところ、69 本が滅失した。

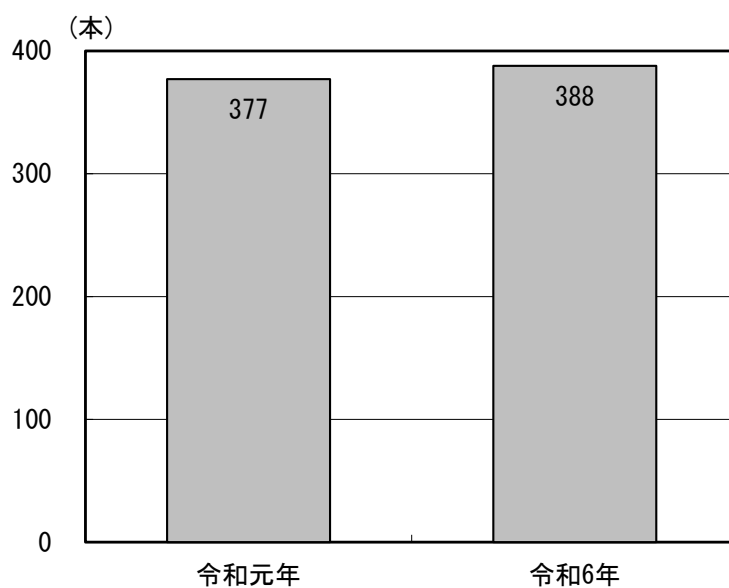


図 5-9 直径 90cm 以上の大径木本数の推移

2) 地区別の推移

- ・直径 90cm 以上の大径木の地区別変化状況を表 5-17 に示す。
- ・大径木本数が最も増加したのは高島平地区の 13 本、次いで舟渡地区の 8 本であった。
- ・大径木本数が最も減少したのは赤塚地区の 8 本、次いで四葉地区の 5 本、上板橋地区の 4 本であった。

表 5-17 直径 90cm 以上の大径木の地区別変化状況

単位: 本

地区名	令和元年	令和6年	増減
板橋	11	10	▲ 1
加賀	11	12	1
仲宿	0	0	0
幸町	4	5	1
大山	9	10	1
中板橋	1	1	0
富士見町	2	1	▲ 1
常盤台	34	38	4
向原	10	10	0
大谷口	9	9	0
小茂根	28	31	3
東新町	20	17	▲ 3
上板橋	46	42	▲ 4
蓮沼町	17	17	0
小豆沢	9	9	0
志村	10	12	2
前野町	12	13	1
中台	8	9	1
若木	6	6	0
東坂下	0	0	0
西台	22	20	▲ 2
徳丸	13	13	0
四葉	16	11	▲ 5
赤塚	40	32	▲ 8
赤塚新町	0	0	0
成増	16	15	▲ 1
三園	0	0	0
坂下	1	1	0
蓮根	4	5	1
舟渡	0	8	8
高島平	16	29	13
新河岸	2	2	0
区全域	377	388	11

3) 樹種別の推移

- ・直径 90cm 以上の大径木の樹種別変化状況を表 5-18 に示す。
- ・大径木本数が増加した主な樹種は、シダレヤナギが 8 本、サクラが 7 本であった。
- ・大径木本数が減少した主な樹種は、ケヤキが 6 本、ポプラが 3 本であった。

表 5-18 直径 90cm 以上の大径木の樹種別変化状況

単位:本

樹種	令和元年	令和6年	増減
サクラ	111	118	7
ケヤキ	97	91	▲ 6
イチョウ	41	39	▲ 2
クスノキ	35	38	3
ムクノキ	22	21	▲ 1
ヒマラヤスキ	15	19	4
スタジイ	13	14	1
シダレヤナギ	1	9	8
エノキ	3	6	3
ポプラ	6	3	▲ 3
その他	33	30	▲ 3
合計	377	388	11

4) 土地利用別の推移

- ・直径 90cm 以上の大径木の土地利用別変化状況を表 5-19 に示す。
- ・大径木本数が増加した主な土地利用は、公園が 15 本、社寺境内地が 15 本であった。
- ・大径木本数が減少した主な土地利用は、独立住宅が 15 本であった。

表 5-19 直径 90cm 以上の大径木の土地利用別変化状況

単位:本

土地利用			令和元年	令和6年	増減
公有地	主な区有施設		5	12	7
	その他公共施設		23	22	▲ 1
	教育施設	区立学校	35	30	▲ 5
		都立学校	0	0	0
		その他	1	0	▲ 1
	公園		140	155	15
	公営住宅		12	8	▲ 4
	道路		10	5	▲ 5
	鉄道		0	0	0
計		226	232	6	
民有地	社寺境内地		78	93	15
	私立学校		9	8	▲ 1
	商業用地		4	13	9
	独立住宅		41	26	▲ 15
	集合住宅		9	9	0
	工業用地		1	1	0
	空地		6	1	▲ 5
	農用地		2	0	▲ 2
	林野		1	5	4
	計		151	156	5
合 計			377	388	11